

## 1 金融イノベーション本部紹介

# 起業家精神でお客様とみらいのエコシステムを共創し、非連続な市場を創造していく

金融イノベーション本部は、「ビジネス×テクノロジーにより新たなマーケットを創出する」をミッションとしている。Foresight 起点でお客様への価値を構想し、お客様と一緒に、ビジネス・サービスをスピーディに創造し、社会課題の解決とお客様の持続的な成功を実現していく。お客様との新たな価値創造を通じて、社員がやりがいと誇りを持って挑戦し、成長し続ける組織を目指している。

### 小回りの利く組織で非連続な価値創出を目指す

金融イノベーション本部（以下イノベ本部）は、金融分野の各事業本部が既存事業をベースとした幅出しや新規事業の創出に取り組んでいることに対し、これまでとは全く異なる非連続な新しい価値を創出することを目標に、2021年07月の組織再編により誕生した。メガバンクグループ、証券、信託、取引所という多様なお客様と共に、新しい仕組みやマーケットの創出に向けた数々の取組みを行っている。

イノベ本部のビジョンは「Beyond Today」。金融分野全体ビジョンの

「Beyond Finance」を受けつつ、起業家精神を持ち、今までにない何かをやる、現状ではできていないことに挑戦するなど、社員それぞれがBeyond Todayを考え、より良い未来を共に作りだそうとしている。

総勢でも約350名という小回りが利く組織であり、戦略的投資のチャンスを逃さず実行するため、高い自由度と迅速な意思決定により新しいことにチャレンジしやすい土壌としている。社員ひとりひとりが、自由に発想しチャレンジできるように、柔軟な働き方や本部長に誰でも何でも話すことができる時間が確保されているなど、職場の雰囲気づくり環境整備も積極的に進めている。



株式会社 NTT データ  
金融イノベーション本部  
部門執行役員  
本部長 瀬戸 篤志 氏

### サービス構想からプラットフォーム化まで

イノベ本部は、3つの室により構成されている。

ビジネスデザイン室は、Foresight 起点アプローチにより、お客様の経営課題を見極め、新たなビジネスを創出していくことをミッションとしている。テクノロジーの最新動向を捉え、近年であれば Web3 の普及に対し、ブロックチェーンなどの先端テクノロジーの活用に向けた提言を行う。また、お客様の事業状況、戦略を分析し、経営アジェンダを策定し、課題解決に資するプランをテクノロジーの強みを活かしてご提案している。

テクノロジー&イノベーション室では主に3つのことを行っている。

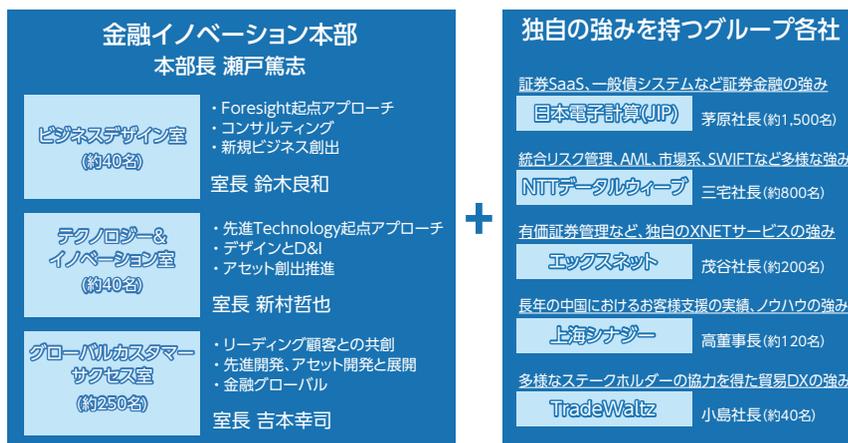


図1 金融イノベーション本部組織構成

ひとつはデザイン。システムのUIデザインに留まらず、サービスそのもののデザインから構想していくべく、金融に特化したデザインチームである金融サービスセンターが、金融分野全体の様々なプロジェクトを支援している。Data & Intelligenceでは、データサイエンティストなどのデータを扱うプロ集団を抱え、スペシャリティを高めノウハウの蓄積に努めると共に、各プロジェクトにスペシャリストを送りサポートしている。さらに、アセットベースビジネスの強化に向け、金融分野全体のアセットを可視化し幅広い活用につなげ、新たなアセット創出に取り組んでいる。

グローバルカスタマーサクセス室はお客様に相對する部門だ。お客様の様々なニーズにお応えすることはもちろん、お客様を巻き込み、お客様と共に新しいビジネスを創出していくことに取り組んでいる。また、先進的な開発手法の積極的な活用により、品質と生産性を高めるデリバリー力の強化に取り組んでいる。

## 独自の強みを持つグループ会社

グループ・関連会社としては、公共・証券分野に強みを持つ日本電子計算（JIP）、SWIFTなどの決済関連やアンチマネーロンダリング（AML）、市場リスク管理などのリスク管理に強みを持つNTTデータグループ、資産管理ソリューションのデファクトスタンダードシステムを持つエクスネット（XNET）、日系金融機関の中国進出をサポートする上海シナジー、そしてデジタルプラットフォームで貿易DXの実現を目指すTradeWaltzがある。

いずれも、それぞれ独自の強みを持った事業会社であり、お互いにお客様と相對しながら、協力し連携してビジネスを進め、シナジー効果を生み出している。

## 多様な新規サービスでアセットビジネスを推進

金融分野におけるアセットビジネス展開の推進役も担っており、既存のアセットの幅出し、アセットを組

み合わせた新たなサービスの展開、さらには、金融分野に留まらない新たなビジネスの立ち上げにも積極的に取り組んでいる。

ビジネス創発の起点のひとつは、社会課題だ。TradeWaltzは、プレイヤーの多さ、仕組みの複雑さからデジタル化が進んでいなかった貿易業務のデジタル化を実現する。ブロックチェーン技術の活用で、国内の荷主やFWDが、ワンストップかつデジタルに貿易手続を完結できるサービスを提供し、国内のデファクトスタンダード化と社会課題の解決を目指している。その他にも、ファッションロス削減、温暖化ガス（GHG）削減などの社会課題にも取り組んでいる。

先進テクノロジーを活用したサービス・ソリューションも進めている。メタバース空間の活用は、今後さらに進んでいくと考えており、没入感を持ったまま行えるメタバース決済や本人認証の取組みも進めているところだ。その他にも、デジタルツインを活用したシミュレーションやスマートフォンを活用した新たな利便性の高い決済サービスなど、自由な発想で新たな取り組みを積極的に進めている。

## 未来志向で挑戦を続ける

本部発足後2年あまりで、多くの構想が形となり、新規サービスの立ち上げも増えてきた。金融機関においても非金融事業強化の動きがある中で、わたしたちも金融事業にとどまることなく、そしてこれまでのやり方にとらわれることなく、自由に発想し、未来に向けた挑戦を続けていきたい。



図2 金融イノベーション本部のMISSION/VISION/VALUES